

令和元年6月28日
九州地方整備局
筑後川河川事務所

「令和元年度矢部川水系渇水調整協議会(第3回)」 における渇水調整事項の報告について

矢部川水系渇水調整協議会とは

当協議会は、矢部川水系の渇水時における関係利水者間の水利使用の調整を円滑に行い、もって合理的な水利使用の推進を図ることを目的とし、平成6年に設立されたものです。

1. 矢部川水系渇水調整協議会(第3回)の概要

- 日向神ダムの有効貯水量は、6月26日13時55分に0 m^3 となり、現在、底水150万 m^3 の放流をしておりますが、今後、降雨がなければ7月6日頃には底水が0 m^3 になる予定。
- 今後も継続的に農業用水を必要とすることから、日向神ダムの放流設備を利用し、引き続き放流可能な貯留水(約70万 m^3 :推定値)を継続して放流する。
- 日向神ダムの約70万 m^3 (推定値)を放流した後、松瀬ダム(福岡県企業局管理)の有効貯水位より下の貯留水(底水)約14万 m^3 を引き続き放流する。
- 矢部川水系渇水調整協議会(第3回)は、文書持ち回りによる協議(6月26日)での開催に代えさせていただいております。
「渇水調整事項」については、別添のとおり、6月28日に全委員の了承が得られました。

参考:松瀬ダムは、福岡県企業局が所有する発電専用の重力式コンクリートダムです。
このダムは上流にある日向神ダム直下の大淵発電所からの放流水をここに貯留することで逆調整池の役割を果たしています。

《問合せ先》

矢部川水系渇水調整協議会 事務局

国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所

占用調整管理官 おおむら 大村 ともひさ 朋寿 0942-33-9222(内線303)

日向神ダム管理者:福岡県八女県土整備事務所 日向神ダム管理出張所

出張所長 きくつぎ 菊次 ともふみ 知文 0943-47-3011

松瀬ダム管理者:福岡県企業局 矢部川発電事務所

所長 しらかわ 白澤 ひろふみ 弘文 0943-45-1111

矢部川水系渇水調整協議会 調整事項

令和元年6月28日

1. 基本方針

- ① 矢部川本川掛かりの農業用水の必要性から、日向神ダムの底水150万 m^3 がゼロとなった場合は、日向神ダムの底水容量以下の貯留水約70万 m^3 （推定値）を継続して放流する。
- ② 日向神ダムの底水容量以下の貯留水約70万 m^3 （推定値）がなくなった場合は、下流の松瀬ダムの底水容量約14万 m^3 を放流する。

2. 放流方法等

- ① 放流方法については、福岡県において調整を図ることとし、調整がつき次第、協議会各委員に放流の時期及び方法等について連絡するものとする。
- ② 放流量は、関係水利組合の取水調整結果に基づき決定する。

3. 対象地域

花宗用水組合、柳川みやま土木組合、花宗太田土木組合のかんがい地域とする。

4. 節水等の努力について

関係三水利組合は、日向神ダム放流量の有効活用に努め、クリーク、筑後川からの導水、花宗溜池と連携し、今後も更なる節水等の努力を行うものとする。